

# 1

## 「シブパネル」について

ここでは「シブパネル」とはどのようなものなのか、についてお伝えします。



※みんなの安心安全のために、本来は、写真撮影は行いません

### はじまりは、アメリカから

「シブパネル」は、病気や障がいのある人の「きょうだい(sibling)」によるパネルトークです。

もともとは、米国シブリングサポートプロジェクトの「Sibshops(特別なニーズのある子どものきょうだいのためのワークショップ)」のファシリテーター養成トレーニングの中で行われている“Panel of Adult Siblings”を日本でも行いたいという思いから始まりました。しかし、実際に大人になったきょうだいに協力を仰ぎながら試行を続けていると、登壇経験の多い人でも、今まで自覚していなかった痛みや傷が浮かび上がり、また、聴く側が工夫できることがもっとあることもわかってきました。

きょうだいたちが気持ちを言葉にし、他の人の経験に共感したり、自分の気持ちを表す言葉を知っていく作業が、安心安全の場で行われるように、「シブパネル」は、パネルトークであると同時に、当事者の声を聴く／伝えることをみんなで大切に考える空気を広げていくイベントです。

#### Check

「きょうだい支援の会」の有馬靖子さんに“Panel of Adult Siblings”と注意点についてご執筆いただいた文章をこちらで紹介しています。



<https://sibtane.com/2022/12/sibpanelgb1/>

### シブパネルの目的と、大切にしていること

シブパネルは、社会がきょうだいにとってあたたかなものになるように、大人になったきょうだいたちから、子ども時代から今までの人生のこと、今、心の中に浮かんでいる大切な気持ちを教わり、明日からの支援につなげることを目的に開催します。

#### 目的1

#### きょうだいの大切な声から支援者が学ぶ

きょうだいの数だけ異なる背景や気持ちがあります。悩みは変化し、生涯続くこともあります。子どもの支援に関わる人はこれから先の見通しを、大人の支援に関わる人はこれまでの歩みを教わります。

#### 目的2

#### きょうだいにとって、話してよかったと思える場

大切な気持ちを話してくれるきょうだいにとって、「これまでの人生が肯定された」、「どんな気持ちも持っていて大丈夫」と感じられる場を目指すことに重点を置きます。



[当日使用するスライド例]

これからパネリストのみなさんに「きょうだい」としての経験や気持ちをお話いただきます。

「きょうだいとしての自分」は、人生の一部であり、すべてではありません。

「シブパネル」は、病気や障がいのあるひとの「きょうだい(シブリング)」によるパネルトークです。

大人になったきょうだいたち、子ども時代から今までの人生経験、心の中にかぶる大切な気持ちを、お話しください。社会がきょうだいにとってあたたかなものになるように、明日からのきょうだい支援につなげることを目的に開催します。

「きょうだいの大切な声から学ぶ」

1. きょうだいの大切な声から学ぶ必要がある  
2. きょうだいとしての自分  
3. きょうだいによって、話してよかったと思える安心安全な場  
4. これまでの人生が肯定される  
5. どんな気持ちも持っていてOK

なので、

- パネリストが話してくれたことを評価する場ではない話にまつまったり、上手に話せなくても当たり前
- きょうだいの心を守るが一番大切 今日聞いたことはこの場だけ。撮影、録音しない。
- パネリストの負担を知っておく 準備も、終わってからも、心が揺れる中で協力してくれていることに感謝します。

2022年 11/27 SUN. 13:00-15:30

シブパネル いわて

#### Check

シブパネルは、大阪府、東京都、静岡県、愛知県、岩手県で試行しました。その時に使用したスライドを公開しています。  
<https://sibtane.com/2022/12/sibpanelgb2/>



### そもそも、この冊子は何？

この冊子は、「当事者」の立場の方が、たとえば

- ①講演会やシンポジウムなど人前で自身の経験を話す時
- ②新聞やテレビなどメディアの取材を受ける時

当事者にはどんなことが起こり得るのを知り、当事者と参加者の安心安全のためにできることをみんなで考えたいという願いから作成しました。

当事者の方には「お守り」や、傷に貼る「ばんそうこう」になるように…。イベント主催者や参加者の方には安心のための工夫を知る一助になれば、そして当事者の心を守ることが第一の空気を共につくっていただけますと幸いです。